



2019年11月11日

本社工場増築およびバイオマス発電施設稼働のお知らせ

株式会社フジデリカ・クオリティ（本社：愛媛県松山市、代表取締役社長：高橋 正人）は、本社工場を増築し、これまで別棟で運営しておりましたデリカ青果センター加工場並びに特例子会社である株式会社フジ・ハートデリカ加工場を集約し、11月から新設備にて稼働（製造、出荷）を開始いたしました。

あわせてこのたび新たに建設しましたバイオマス発電施設を稼働いたしますので、その概要についてお知らせいたします。

1.本社工場増築について

新デリカ青果センター加工場、㈱フジ・ハートデリカ新加工場稼働開始！

(1)目的

- ア．徹底した品質管理、衛生管理を実現することにより、常に食の安心・安全をお届けできる工場を目指します。
- イ．施設、設備の刷新、拡大による生産量と生産性の向上を図ります。

(2)概要

所在地：愛媛県松山市安城寺町571番地2（本社一階）

規模：面積1,628.30㎡(約493坪)

(3)稼働開始日

新デリカ青果センター加工場：2019年11月7日

㈱フジ・ハートデリカ新加工場：2019年11月1日

（ご参考）

※デリカ青果センター加工場

野菜、果実の加工、カット野菜の製造

※㈱フジ・ハートデリカ

野菜、果実の一次加工

「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に定める特例子会社として、2011年設立

2. バイオマス発電施設稼働について

中四国民間企業初！自社廃棄物を利用したバイオマス発電設備

(1) 目的

近年、高齢化の進展による単身世帯の増加、女性の社会進出による共働き世帯の増加などの社会環境の変化に伴い、惣菜の需要は年々伸張しています。一方で惣菜市場の拡大によって廃棄物（食品残渣）は年々増加しており、当社では廃棄物の削減を図るため、原材料の効果的な使用方法の検討ならびに製造・販売数量の適正化に継続的に取り組んでいます。

このたび当社は、一層の廃棄物の削減および天然資源の消費を抑制するため、中四国の民間企業では初となる自社廃棄物を活用したバイオマス発電施設を建設し12月から稼働いたします。これにより環境への負荷をできる限り低減する「循環型社会」の構築を目指すとともに、地球温暖化対策の取り組みを推進してまいります。

(2) 概要

所在地：愛媛県松山市安城寺町571番地2（本社敷地内）

(3) 稼働スケジュール

2019年11月 施設完成、試運転開始

2019年12月 施設稼働開始（予定）

(4) バイオマス発電方法

㈱フジデリカ・クオリティの本社工場にて発生した食品残渣を、

①破碎し ②発酵させ ③発生したメタンガスを燃やして発電します。

※年間で削減されるCO₂排出量は、杉の木約33,000本が吸収する量に相当し、地球温暖化防止に貢献します。

(イメージ図)

食品系バイオマス

